

「GPA制度について」2025年度（令和7年度）学生便覧より抜粋

（9）GPA制度について

1) GPAについて

履修科目ごとの成績（得点）に対して、GP（グレード・ポイント）を付与し、その単位当たりの平均値をGPA（グレード・ポイント・アベレージ）とします。

成績がより正確に評価ができるf-GPA（functional-GPA）を令和4年度後期から用いています。

成績評価	得点	GP
秀	90～100	3.5～4.5
優	80～89	2.5～3.4
良	70～79	1.5～2.4
可（本試験合格）	60～69	0.5～1.4
可（再試験合格）	合	0.5
不可（欠席・失格）	0～59	0

2) GPAの目的と利用について

① 学生

自分自身のGPAを知ることにより学修効果を的確に把握して、卒業・希望する資格・免許状の取得のため、計画的な履修を組むことができます。

② 教員

学生のGPAを知ることにより適切な成績評価、教育の改善および学習指導の充実を図ることができます。

③ その他

公平・公正なGPAを各種奨学生の推薦、進学・就職に関わる推薦および江角賞・学長賞などの褒賞の選考に利用することができます。

3) GPAの算出について

① 算出方法について

GPAの算出方法は、次のとおりです。また、算出された数値の小数点第3位以下は四捨五入して第2位までとします。

GP = (成績評価 - 55) / 10 （ただし、GP < 0.5 は GP = 0.0）

GPA = (履修科目のGP × 単位数の総和) ÷ 履修科目の総単位数

◆算出例

$$\frac{2.8 \times 2 + 4.0 \times 2 + 2.2 \times 1 + 3.5 \times 2 + 0 \times 1 + 1.0 \times 2 + 0 \times 2}{2 + 2 + 1 + 2 + 1 + 2 + 2} = \frac{24.8}{12} \Rightarrow 2.07$$

番号	科目名	単位数	成績	評価	GP	GP × 単位数
①	純心講座	2	83	優	2.8	5.6
②	キリスト教概論 I	2	95	秀	4.0	8.0
③	健康スポーツ I	1	77	良	2.2	2.2
④	日本国憲法	2	90	秀	3.5	7.0
⑤	人間・教養・文化	1	40	不可	0	0
⑥	社会福祉概論	2	65	可	1.0	2.0
⑦	フランス文化論 I	2	—	失格	0	0
計		12				24.8

（注）⑤単位認定試験の結果が40点のため成績評価「不可」で、GP「0」

⑦履修取り消しを行わずに受講しなかったため、成績評価「失格」で、GP「0」

② 算出期間について

a. 学期

学期（前期・後期）ごとの履修科目で算出します。通年科目は、終了した学期に算入します。

b. 学年

1年次、2年次、3年次、4年次の各年次の履修科目で算出します。

c. 通算

入学時から対象となる全ての科目で算出します。

4) 履修取り消しとGPAについて

履修取り消しの手続きを行わず履修を放棄した場合は、成績評価が「失格」（算出例⑦参照）となり、「履修科目の総単位数」に加算されますので、結果的にGPAが下がります。

そこで、履修放棄によるGPA値の低下を防ぐために「履修登録変更期間」または「履修取消期間」に履修取り消しを行うことができます。

5) GPAの通知について

GPAの対象科目は、履修した全ての卒業要件科目とします。ただし、入学前の既修得単位、大学以外の教育施設等の学修による単位認定科目など、成績評価が「認定」となる科目は除きます。

GPAは「教務情報システム（Campus Plan）」の「学生カルテ」または学生支援課で配付する「学業成績・単位修得通知書」で確認することができます。

6) GPAの活用について

全学科で、進級要件および履修登録上限単位数の緩和要件として活用します。

① 教育・心理学科

実習参加要件の参考資料として活用します。

卒業時の学長賞・江角賞候補の選抜、海外日本語教育インターン（日本語教師アシスタント）の選抜に活用します。

② 看護学科

3年次の実習グループの平準化に活用します。

③ 健康栄養学科

実習時の参考資料および3年次の国家試験対策のグループ分けに活用します。